

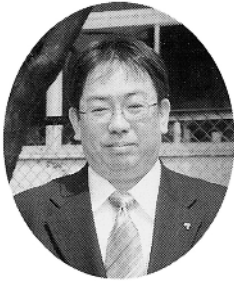


第 5 号 平成19年11月
発行 番町小学校同窓会
〒102-0085 千代田区六番町 8
東京都千代田区立番町小学校内
TEL 080-3012-1001 FAX (03)3263-3731
郵便振替口座 00160-7-352085
編集 番町小学校同窓会事務局
印刷 株式会社 精興社

今回は今年 4 月に着任された田村聡士副校長先生、平成 7 年度の卒業生で、現在は母校で教鞭を執る中川優香先生、40 余年ぶりに再び番町小学校で教えていらっしゃる小尾昭先生に原稿をお願いしました。

ご挨拶（番町小学校に着任して）

副校長 田村聡士



額賀聡先生の後任として、文京区立誠之小学校から着任致しました。年度当初は「番町小学校の副校長」ということで、大きな緊張感を感じていました。しかし、教職員の協力と、保護者、地域の方、同窓会の方、OBの先生方の暖かいご支援で、職務を進めることができました。感謝しています。

番町小学校には現在、1年生～6年生まで計588名の児童が在籍しています。先生に厳しく指導されることもあります。先生に厳しく指導されることもありますが、みんな元気いっぱい学校生活を送っています。教職員は41名、非常勤のスクールカウンセラー、図書館司書、シルバー人材センターの警備員、下校の見守り員を含めると50名を越えます。一人一人が子どもたちのことを考え、がんばって職務に励んでいます。

この半年の間、大きな行事だけでも宿泊を伴う4年生の岩井臨海学校（7月）、5年生の婦恋自然体験交流教室（5月、10月）、6年生の箱根移動教室（5月）がありました。番町大運動会

（9月）、小中連合陸上大会（10月）、学芸会（11月）は練習の成果を十分に発揮し、大成功でした。学校行事を終える度に子どもが大きく成長していくように感じ、番町スタイルが分かってきました。9月の番町子ども会では地域の方々のご協力のもと、700名を越える子どもたちが楽しい時間を過ごしました。



学校以外の行事にも積極的に参加しています。イタリア文化会館のチャリティコンサート、太陽光・風力発電街灯の点灯式。江戸天下祭には、休日にもかかわらず保護者の協力を得て、たくさんの児童が参加しました。



国際的な行事も多く、首相官邸へ国賓を歓迎するために首相官邸へ2回出かけました。イタリアのテレビ局の取材を受けたり、スーダンの大臣が来校されたりもしました。子どもたちが多種多様な経験をする機会が多く、嬉し

く思います。

番町小では地域や校外学習バスで実地見学に出かけたり、たくさんの方をゲストティーチャーに迎えたりする学習も盛んです。実際に体験したりその道のプロの方に指導をして頂いたり、質の高い学習活動が展開されています。番町の子どもたちは本当に恵まれています。



さて、教育問題が毎日のようにマスコミに取り上げられています。中でも子どもの学力の問題は、人々の関心の高い問題の一つです。番町の子どもたちは幅広くたくさんの知識をもち、高い学力を有しています。しかし、文章を豊かに読み取ったり自分の考えをわかりやすく伝えたりするための「創造

番町小学校校長 星野昌治先生におかれましては、平成19年11月28日、文部科学大臣教育者表彰を受賞されました。長年のご功績を讃え、栄えある受賞を心からお祝い申し上げます。

力」は、もっと高める必要があると考えています。そこで「自分の考えを創造する児童の育成ー言葉と体験を重視した理科・生活科の指導ー」を研究テーマとして、平成20年度に改訂が予定される新学習指導要領の内容を見据え、指導のあり方を研究しています。自分の知識や体験を、言葉でわかりやすく表現する学習を通して、自分の考えをしっかりと創り上げる子どもを育てることを目指しています。12月3日には公開授業、研究発表会を行い、研究の一端を全国に向けて発信致します。多様な現代社会のニーズにしっかり対応できる人材を育成できるよう、子どもたちの創造力を伸ばす指導を重ねてまいります。

子どもたちは、多くの方のご支援とご協力で日々成長していきます。番町の子どもたちは、恵まれた環境の中で過ごしています。子どもたちがしていることに感謝する心もしっかり育てていきます。そして「人にしてもらった」から、いつか相手を思いやり「人にしてあげる」、社会に貢献できる人になってほしいと思います。

今年度10名の教職員が、番町小学校に着任致しました。星野校長の「教職員が一丸となって、一枚岩のように番町スタイルを推進する」経営方針のもと、歴史と伝統のある番町小学校で、技術を磨き、力量を高めて参ります。皆様のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

「大好きな子どもたち」

中川 優香



平成17年4月、懐かしさと共に母校の門をくぐる私は、教師としてまいり

ました。緊張のためか、勝手を知っているはずの母校がまったく違う学校に見えたのを覚えています。

今年度、教師として3年目を迎え、現在は3年生を担当させて頂いています。この2年半で、それまでの私の人生では出会ったことのない素晴らしい出来事、素晴らしい出会いがたくさんありました。

私たち教師は、子どもたちが成長する過程をともに過ごすことができます。初めから問題のないできあがった学級、学年はありません。子どもたちと出会ったその時から、目の前で起こる様々な困難を乗り越えながら子どもたちと学級、学年をつくり上げていくのです。



私が担任するクラスで、こんなことがありました。ある子が自分のことで悩み、学校に行きづらくなってしまいました。何日間か学校を休んだその子が久しぶりに登校してきた時、教室になかなか入ることができず、私も保護者の方もどうしていいのかわからず、途方に迷ってしまいました。そんな時、クラスの仲間が「あ！来てくれたんだ！」と、嬉しそうに声をかけに来てくれました。次の時間は算数の予定でしたが、クラスの子どもたちの喜ぶ姿を見て、クラス全員で手打ち野球をすることにしました。初めは渋っていたその子でしたが、そのうちずっと何事もなくたかのように皆の輪に加わり、楽しそうに手打ち野球をしていました。硬く閉ざしたその子の心を溶かしたのは、他でもなく仲間たちの暖かい心です。もちろん、彼らは最初からそのような関係だった訳ではありません。時には相手を傷つけたり自分が傷つけられた

り、たくさんぶつかってきました。ぶつかり合いながら、いえ、むしろたくさんぶつかってまっすぐ向き合ったからこそ、お互いを本当の意味で受け入れることができたのかもしれない。

また、子どもたちは、私たち大人が自分たちとどう向き合っているのかを本当によく見て、感じています。私がいい加減な気持ちで向き合った時は、子どもたちからもいい加減な反応が返ってきます。私が本気で彼らと向き合った時は、彼らも真剣に向き合う姿を見せてくれます。私がしたことが、子どもたちにこんなに大きく影響することを知り、教師の仕事の責任の重さを感じるとともに、その素晴らしさも心に強く感じました。お互いを受容し合い、刺激し合い、成長していく子どもたちと時をともに過ごせる、こんなに心がわくわくし、こんなに嬉しいことはありません。

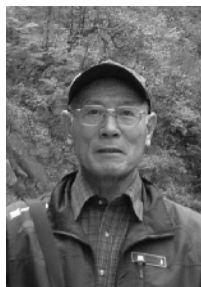
子どもたちの成長を共に喜ぶ人たちに出会えたことも、嬉しいことのひとつです。前記のクラスの子どもたちの様子を見守ってくれていたある先生が、手打ち野球が終わり、子どもたちが帰った後、「今日は、クラスの子どもたちの温かい心にたくさん触れることができた、素敵な一日だったね。」と声をかけてくださったことが、今でも心に残っています。「先生、クラスの子たち、みんなあったかいですね。」と言ってくくださった保護者の方の言葉も、忘れられません。同じように子どもたちのことを想う人たちと、子どもたちの成長を共に感じることもできたのも、私にとって大きな喜びとなりました。

クラスの子どもたちと真剣に向き合っていくうちに、私の中にはある感情が芽生え始めました。それは「愛おしい」という気持ちです。子どもたちのことを考える時、嬉しくて楽しくてわくわくする気持ちとともに、胸がキュッとなるような切ない気持ちにもなります。こんな素敵な気持ちを教えてく

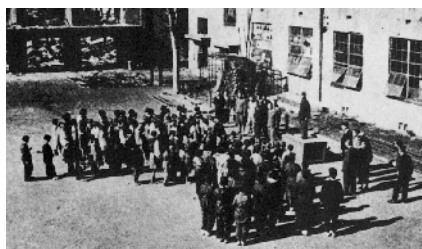
れた、子どもたちに心から感謝しています。そんな愛おしい子どもたちとの日々感謝しながら、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。

80周年の頃

小尾 昭



私が番町小学校に赴任したのは、昭和26年のことです。外から見た校舎は、堂々として風格がありましたが、一步中に入ると復旧工事中で、空襲で焼けたままの教室やコンクリートむきだしの壁があちこちにあって、荒れた感じでした。知り合いの先生からも、昔は有名校だったが、廃校騒ぎが治まってやっと落ち着いたところなのだよ、と聞かされていました。昭和22年頃は、一面焼け野原で子供もいないのだから番町小学校を廃校にして、その後に新制中学校を建てようと考えたのも無理からぬことだったのですが、それを聞いた父母、地元、教師が、伝統ある番町を守れと一斉に立ち上がりました。



先生たちは自転車の後ろに紙芝居を積んで青山、四谷など学区の外を回り、集まった子供たちに番町小学校へ来れば紙芝居をいっぱい見せてあげるよと宣伝したそうです。児童名簿にも四谷や青山から来ている子が沢山いましたから、宣伝効果があったのかもしれませんが、今なら問題になりそうなのですが、当時はお咎めもないまま番町小学校の存続が決まりました。

先生たちの頑張りは、それだけではありませんでした。当時は紙が不足で手に入りにくかったので、保護者の印刷屋さんから裁ち落としの紙などを貰ってテストやドリルを作りました。鑢と鉄筆で一字ずつ書くのですから時間がかかりますが、その日に学習した内容のドリルをプリントして毎日渡していました。1学期末には100ページを超える夏休み帳を手書きで作りましたが、3色刷りを多用したりして大変でした。担任二人の仕事なので、書き終わった時には痛くて肩が動きませんでした。

子供たちは喜んで学習に励み、学力が向上するような授業をしようと、学校全体が燃えていて、研究授業も盛んでした。特に理科は東京都の研究指定校で発表を控えていたので、授業のたびに指導主事が5,6人来て厳しく指導を受けました。このような先生たちの取り組みが次第に評判を呼んで、転入を希望する児童が増えてきました。

私の赴任した昭和26年は、創立80周年の年でした。愛育会の会長さんのご尽力で天皇陛下においでいただけることにはなりましたが、式場になる体育館がありません。会長さんが、廃業した工場の鉄骨を探してきて、愛育会の募金で作り上げることができました。体育館は、こうして式典に間に合わせましたが、大変なご苦労だったと頭が下がります。千代田区も、テレビ通りから校門までの道路の舗装や、校舎内の改修に力を尽くしてくれましたが、時間切れで、階段などは天皇がお通りになるときに見えるところだけ塗装するという慌たしさでした。それでも式典は全児童が参加して、感動のうちに終了しました。



この年の卒業式から、舞台の上で校長が一人ひとりに証書を渡す方式に変えました。それまではどこの学校も、代表の子がまとめて受け取るのが通例でしたので、式の前から評判になりました。まだテレビの無い時代でしたから、ラジオや新聞社がたくさん来て、その模様が子どもたちの演奏する校歌とともに全国に伝えられました。こうした卒業式は今、全国で行われていますが、その発祥はこの時にあると思います。

このように子供を大切にする教育が知れ渡り、転校してくる児童の数がますます増え、やがてエスカレーター教育というはやり言葉が生まれて、週刊誌を賑わしました。番町に入れば自動的に東大に入れるというというニュアンスの言葉で、番町に入れたがる親を揶揄する言葉です。

しかし、先生たちの受け止め方は違っていました。新制中学が発足した当時は、新しい中学に不安を持つ保護者も多く、子どもを私立に行かせようとする親もたくさんいました。しかし、新制中学である麹町中学をよい学校にするためには、全員が麹町に入って盛り立てることが大切であり、それが番町の子供たちの幸せにつながるのだと、先生たちは考えました。先生たちの努力で麹町中学はよい学校になり、その結果として進学率も群を抜いて高まりました。だから、エスカレーター教育とマスコミに騒がれても、少しも動揺しませんでした。

あれから40年以上経ちますが、その間、先生方、愛育会、地元が一体となって番町小学校を盛りたて、番町の名声はますます高まっています。番町に籍を置いたことのあるものとしてこんなに嬉しいことはありません。番町は私の胸に永遠に輝いています。

題 字：故 内田禮江さん(昭和19年度卒)
校章デザイン：鈴木健之さん (昭和45年度卒)

【同期会便り 1】

久方振りに会いました

昭和13年度 小安總（西川）

平成19年10月23日（火）、好天に恵まれ、予定の14名全員がプラザfに集まりました。6年前の級会で打ち切りとしたのに再開した動機は、皆から頼られた福原千鶴子さんの他界でした。優等生だった在学中から卒業後まで、一貫して同級会、同期会の中心になって消息を調べ、連絡を取り、自宅を幹事会の場として提供するなどあらゆる便宜を喜んで計って下さいました。「福原さんを追悼の心で」と通知した30余名の約半数が参加したのも、彼女の遺徳でしょう。最後に会ったGさんが様子を語り静かに冥福を祈った後、食事が運ばれざわざわと皆のお喋りが始まりました。



お嬢さんの押す車椅子で参加した人やステッキを突いたり片耳が不自由だったり。80歳に至れば、色々あって当たり前でしょう。「前に座っている人、誰だったかしらん？」「えーと、顔は判るけど、名前が思い出せない」などの思いも次第に解けて幼顔が蘇り、いつしか「〇〇ちゃん、4年の時にね」と、小学生に戻った口調に変わります。四谷駅で降りて通学したのにあまり様子が違ってまごついたことや、隣が消防署だったのにビルになっていてそこが会場と思ったことなど他愛のない話が続き、車椅子のTさんが特別加工された箸を使って器用に左手で食事をするのに感服。リハビリのために刺しているという見事な「華ふきん」を、全員にプレゼントしてくれました。

楽しい時間は短いもの。3時間はあっという間に過ぎ、名残を惜しみながら解散しました。やはり又、会いたいですね。

× × ×

この原稿を書いている最中に、信じられない訃報が届きました。ニコニコ堂の看板娘小林富美枝さんの急逝です。「近いから歩いてきたの」とおっしゃっていたのに、25日にスーパーのレジで転倒。救急車で搬送された病院で、意識が戻らないまま29日に旅立った由。皆にお別れにいらしたのでしょうか、優しい笑顔が忘れられません。

98会(98回卒業生の会)納涼会

昭和45年度 中村悦子（小倉）

柳田知子（阿部）

平成19年7月14日（土）、ようやく日も暮れて神楽坂に明かりが灯り、毘沙門天手前のビル地下にある居酒屋「れとろ」に仲間が集まり始めた。現在常時通信を送信しているメンバーは90名程度だが、そのうち26名が納涼会に参加した。恩師の一人、島田稔先生もマドンナたちに囲まれて幸せそうである。私達は皆48、49という年齢を迎えたが、成人した子どもがいる人も、まだ小学生のお子さんを持つ人もいる。ミュージシャンのようなお医者様もいれば、この日のためにわざわざ諏訪から駆けつけた学校の先生もいる。人生模様も様々で、酸いも甘いも噛み分けた大人同士だが、小学校の仲間といると10代気分に戻ってしまうから不思議である。一次会お開き・・・「あ、〇〇ちゃん帰るの？じゃあ、××君、ちゃんと駅まで送ってあげてね！」「承知しました！」・・・さて、残った15名程で同じ店で二次会突入・・・やがて、午前3時を回ってシンデレラの馬車もとっくにかぼちゃんに戻っている頃、店を替えて三次会へ。（え、ま

だ8人も残ってるの！）話は尽きず、白々と夜が明ける。「さあ、みんな。帰ろう。」「またね、きつとね。」坂道を登る者、下る者、それぞれに再会を誓う。これからも互いの存在がよい刺激となり、明日の力となるような同期会でありたいと願いながら。

× × ×

番町98ゴルフ会の紹介

青柳総明

東京タワーができた昭和33年に我々番町小学校第98回卒業生はこの世に生まれ、それぞれが来年50歳を迎えようとしている。小学校を卒業してほとんどバラバラだった友人が4年前に開かれた同期会で多数再会し、さらにゴルフ会を始めることになった。年2回開催し、先日第8回目を開催した。



当時担任をして下さった島田先生には会長兼カメラマンをお願いしており、特製ゴルフ帽子を用意して頂き、ゴルフ会の後には写真付きの葉書を会員に送って頂いている。小学校同級生のゴルフに先生も参加して下さいるのは大変有難く、そのお陰でまだ子供のようにはしゃいでゴルフを楽しむことができる。

さて、平成20年5月18日（日）に、第9回ゴルフ会を計画しています。98回卒業生の皆様、是非参加してみませんか！興味のある方は奥野までメール（aoyagi@kemmer.co.jp）下さい。



昭和8年度卒業生懇親会

【同期会便り 2】

第4回95回生同期会

星野雅信

平成19年7月7日（土）、四谷駅前「主婦会館プラザ f」に、鈴木先生・夏目先生・岩上先生のご参列を得て、約60名の同期生（昭和42年度）が楽し

く和やかに集いました。

我らの至宝（!）5組の榎村君出題による恒例「ハタ坊のカルトクイズだじょ〜」では、皆から寄せられた豪華景品をゲットすべく白熱。最後に岩上先生の指揮の下、「四季のうた」を合唱、あっと言う間に時間が過ぎてしまいました。当日の様子は、私たちのHP（www.bancho-95.gr.jp）中、「こ

れまでの活動」でご覧頂けます。）2次会・3次会と盛り上がり続けたのも、恒例の事でした。あ〜楽しかった。



訃 報

前副会長 内田禮江様におかれましては、入院加療中のところ、11月2日午前6時30分、肺炎のため逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。

内田禮江さんのこと

前会長 黒川 浩（昭和19年度）



内田禮江さんは、昭和20年3月、トップの成績で番町小学校を卒業し雙葉学園中学に進んだ。その年の8月終戦を迎え、学窓に戻った昭和10年度卒の先輩たちが、同窓会復活のため後輩たちに声を掛けた。内田さんも幹事として参加したのが、同窓会との付き合いの始めだった。再開した同窓会の最初のイベントは、総会と巖本真理さんの音楽会だった。その後、番町を廃校にして新制中学を設置しようという問題が起きた。同窓会も、廃校反対を訴えるポスターを電信柱や塀に貼ったりガリ版刷りの協力願いを郵送したりしたが、内田さんも毎日のように手伝っていた。

その頃の内田さんは、身体こそ小さかったが行動力のある明るい性格で、先輩たちにも可愛がられた。先生や大学生を相手に制服姿で颯爽とテニスをする姿は、焼け跡の校庭でとても目立った。その反面文学少女で、小説を書いたり百人一首で腕を振るったり、バイオリンや書道を学んだりする多才な人だった。

時移り平成3年、皇太子殿下をお迎えして祝った創立120周年記念式典の直後、千代田区が小中学校を再編・統合するという2度目の廃校問題が発生した。後年、その反対がきっかけとなって同窓会の再組織化がなされ、内田さんは新たな同窓会で副会長に就任した。総会、理事会・学年幹事会はもとより、「番町子ども会」「U-20（20歳以下対象の同窓会）」「Home Coming Day」などに毎回積極的に参加し、活躍した。「U-20」初年度のビンゴの賞品は、内田さんが寄付してくれたものだった。

所属する昭和19年度同期会では永久幹事で、名簿の整理、会計などは彼女が一手に引き受けてくれていたのだが、今年10月20日の同期会前日、救急車で入院というハプニングが起きた。同期会出席者35名は、激励の意をこめて寄せ書きをした。翌日見舞いに行ったところ予想以上に元気で、寄せ書きや会員消息報告を丁寧に見て「これは最高の宝物だ」と、喜んだ。病室を出る時呼びとめられ、悪戯っぽく「手を握るのは最初で最後だね、強くね」と言いながら、握手を求められた。

11月2日朝、静かに昇天。享年75歳。11月6日、同窓会や同期会、番町OB会ほかの美しい花が飾られた碑文谷のサレジオ教会で、番町関係者が多く参列して見送った。

なお、本誌の題字『番町』は、内田さんの筆によるものである。



前から2列目、右から5人目が若き日の内田さん



自分の夢を大切に
して、実現したい。
奥田有紀

将采は将来、
動物園の飼育員に
なりたいたいです。
山田拓実

将采は将来、
動物園の飼育員に
なりたいたいです。
山田拓実

将采は将来、
動物園の飼育員に
なりたいたいです。
山田拓実

将采は将来、
動物園の飼育員に
なりたいたいです。
山田拓実

将采は将来、
動物園の飼育員に
なりたいたいです。
山田拓実

将采は将来、
動物園の飼育員に
なりたいたいです。
山田拓実

将采は将来、
動物園の飼育員に
なりたいたいです。
山田拓実

将采は将来、
動物園の飼育員に
なりたいたいです。
山田拓実

将采は将来、
動物園の飼育員に
なりたいたいです。
山田拓実

将采は将来、
動物園の飼育員に
なりたいたいです。
山田拓実

将采は将来、
動物園の飼育員に
なりたいたいです。
山田拓実

将采は将来、
動物園の飼育員に
なりたいたいです。
山田拓実

将采は将来、
動物園の飼育員に
なりたいたいです。
山田拓実

将采は将来、
動物園の飼育員に
なりたいたいです。
山田拓実

将采は将来、
動物園の飼育員に
なりたいたいです。
山田拓実

将采は将来、
動物園の飼育員に
なりたいたいです。
山田拓実

将采は将来、
動物園の飼育員に
なりたいたいです。
山田拓実

平成18年度卒業生

【平成18年度寄付者ご芳名（敬称略）】

氏名	ID	寄付	氏名	ID	寄付	氏名	ID	寄付
大國 昌彦	S 16-102	108000	杉田 隆	S 41-121	5000	吉村 誠	S 10-163	2000
井上 智雄	S 25-104	48000	星野 雅信	S 42-228	5000	松井 秀子	S 10-421	2000
田村 雅通	S 41-223	31000	石橋 義通	S 42-504	5000	山形 達衛	S 13-216	2000
亀山 三平	S 12-108	20000	勝山 勝	S 43-310	5000	小安 總	S 13-336	2000
渡辺 和夫	S 14-356	18000	中部 謙一郎	S 43-330	5000	河西 沙喜子	S 15-219	2000
岩瀬 秀郎	S 19-121	18000	橋本 和夫	S 43-434	5000	小林 駿允	S 16-420	2000
吉田 眞耶子	S 24-236	14000	藤川 伊知郎	S 55-228	5000	本田 光芳	S 18-251	2000
浅野 和久	S 46-403	12000	相川 幸子	S 16-202	4000	草薙 みちよ	S 19-325	2000
松林 澄男	S 18-252	11000	鈴木 三朗	S 19-231	4000	幸坂 靖子	S 30-155	2000
田中 春代	S 06-424	10000	近藤 勝美	S 25-145	4000	柳沢 賢一郎	S 30-353	2000
町田 乾郎	S 08-149	10000	網島 照夫	S 34-325	4000	坂本 有子	S 33-247	2000
町田 充子	S 10-346	10000	岸人 一浩	H 17-210	4000	杉下 喬之	S 33-420	2000
古澤 正文	S 11-145	10000	岩垣 寿子	S 08-446	3000	牧野 忠	S 37-336	2000
藤本 俣子	S 15-138	10000	丸山 三郎	S 09-118	3000	藤本 操	S 38-328	2000
森川 敏雄	S 19-245	10000	原田 耕作	S 10-143	3000	多崎 次郎	S 40-223	2000
降旗 史子	S 19-331	10000	蒔田 美恵子	S 11-324	3000	山名 彰	S 41-235	2000
恩慈 宗武	S 26-107	10000	森 和子	S 11-448	3000	平田 真弓	S 42-351	2000
島村 隆一	S 31-218	10000	蔵原 正昭	S 14-116	3000	片山 祥子	S 42-542	2000
佐伯 元子	S 33-345	10000	小澤 利男	S 15-104	3000	大浜 壮太郎	S 43-107	2000
目黒 千代	S 34-434	10000	大和田 章子	S 15-220	3000	小高 功嗣	S 45-310	2000
浜田 敏男	S 41-530	10000	武貞 建男	S 15-433	3000	小倉 悦子	S 45-540	2000
木村 仁美	S 42-347	10000	秋草 靖	S 19-114	3000	下田 武志	S 52-411	2000
三ツ橋 雅彦	S 61-223	10000	黒川 浩	S 19-221	3000	高野 緑	S 57-131	2000
佐藤 貴子	S 06-352	8000	桑名 昭治	S 19-227	3000	黒田 由紀乃	S 61-329	2000
原田 重徳	S 08-344	8000	内田 禮江	S 19-407	3000	郡山 雄一	H 11-307	2000
荒木 律子	S 13-424	8000	蛭田 ふみ子	S 19-420	3000	丸林 大介	H 13-124	2000
深川 京子	S 15-160	8000	磯貝 しま	S 20-917	3000	中里 峻	H 13-319	2000
池中 泰夫	S 16-101	8000	中村 禎良	S 26-211	3000	吉田 菜摘	H 15-237	2000
荒川 正夫	S 20-140	8000	真田 寿彦	S 30-216	3000	竹野 瑠鳳	H 16-218	2000
小室 苑子	S 28-347	8000	高橋 俊雄	S 30-221	3000	相澤 里奈	H 17-201	2000
吉岡 璋	S 30-361	8000	岩瀬 琢郎	S 32-205	3000	勝山 颯太	H 17-310	2000
岩田 悦子	S 31-158	8000	末光 晃子	S 33-142	3000	清水 万椰	H 17-315	2000
草刈 真由美	S 32-341	8000	白井 健	S 33-217	3000	吉沢 弥生	S 11-453	1000
中田 泰子	S 33-148	8000	坪内 文生	S 33-425	3000	塩島 昭三	S 14-127	1000
西嶋 良信	S 36-427	8000	漆間 民江	S 33-442	3000	矢澤 昭	S 14-159	1000
宮入 守	S 36-634	8000	三宅 真由美	S 35-455	3000	飯塚 純一	S 15-901	1000
小林 益三	S 37-115	8000	板澤 葉子	S 36-646	3000	坂 篁一	S 16-322	1000
三井 恵美子	S 37-358	8000	坪井 直明	S 37-120	3000	津下 一英	S 16-435	1000
原 美鈴	S 42-246	8000	川口 正広	S 37-414	3000	東 悦子	S 17-159	1000
長束 成博	S 42-426	8000	桜井 寛	S 37-515	3000	桜田 守彦	S 18-226	1000
増田 淳	S 42-435	8000	虎岡 寛道	S 41-225	3000	山崎 泰子	S 18-401	1000
横山 義文	S 43-240	8000	宮本 美和子	S 42-543	3000	金井 和子	S 19-411	1000
西岡 真理子	S 44-147	8000	川嶋 孝雄	S 43-510	3000	阿部 雄治	S 20-101	1000
神原 礼文	S 44-214	8000	杉村 信寿	S 44-117	3000	石 満	S 20-143	1000
中山 久子	S 44-453	8000	西岡 芳文	S 44-127	3000	永田 穰	S 20-156	1000
会田 陽一	S 45-401	8000	寺岡 たえ子	S 44-253	3000	中村 光世	S 20-922	1000
栗原 究宣	S 48-408	8000	佐々木 深雪	S 44-444	3000	正木 美樹子	S 20-930	1000
竹川 勝治	S 49-219	8000	坪倉 栄	S 44-548	3000	中山 秀夫	S 22-905	1000
池内 政忠	S 58-303	8000	雨宮 明文	S 45-201	3000	清水 勝治	S 24-112	1000
米沢 龍太郎	S 63-124	8000	小野田 教高	S 46-211	3000	本山 房子	S 27-235	1000
竹内 浩史	H 02-112	8000	堤 恵利子	S 46-242	3000	向井 郁子	S 27-251	1000
垂澤 和成	H 04-210	8000	山内 亜由美	S 46-243	3000	長山 和枝	S 28-334	1000
杉山 恵理花	H 07-325	8000	笹山 幸嗣	S 47-217	3000	松尾 真智子	S 29-141	1000
堀本 識允帝	H 17-124	8000	渡邊 宗行	S 47-435	3000	岡村 和子	S 29-345	1000
美濃部 慎次	S 46-231	7000	佐藤 通洋	S 48-213	3000	得能 和子	S 30-255	1000
設楽 善宏	S 63-112	7000	上野 誠之	S 50-303	3000	島本 朋子	S 30-326	1000
伊東 和人	S 11-208	6000	井上 善雄	S 51-407	3000	室井 邦夫	S 30-349	1000
宮路 章子	S 13-355	6000	松島 正和	S 52-221	3000	額田 麻倫子	S 32-350	1000
中尾 武弘	S 15-356	6000	室橋 東洋	S 53-321	3000	山下 求	S 33-530	1000
樋口 儀市	S 15-447	6000	岩田 知	S 57-104	3000	加藤 正実	S 38-311	1000
住田 英夫	S 28-313	6000	栗原 伸芳	S 59-206	3000	大石 義和	S 42-204	1000
中里 泰子	S 38-147	6000	服部 達彦	S 59-217	3000	川又 波真江	S 42-541	1000
福田 敏雅	S 39-131	6000	遠藤 英樹	S 63-106	3000	内藤 恭子	S 44-246	1000
杳沢 霞	S 39-551	6000	吉住 太志	H 02-225	3000	福原 伸子	S 46-340	1000
高増 潔	S 41-124	6000	澤田 佳緒里	H 10-311	3000	竹下 裕	S 48-415	1000
瀬谷 知子	S 41-246	6000	夜久 広	H 15-136	3000	小原 正幸	S 51-413	1000
中井 悦朗	S 44-232	6000	中山 義喜	H 16-224	3000	片桐 麻子	S 55-131	1000
大石 和美	S 44-509	6000	夜久 平	H 17-326	3000	矢賀 勇志	H 18-332	1000
武井 信子	S 14-548	5000	森川 竹雄	S 03-247	2000			
岩田 英一	S 16-407	5000	吉川 房江	S 05-401	2000	住永 信子	S 11-338	3020 (切手)
山田 稔	S 20-914	5000	勝山 和子	S 06-340	2000	木村 春子	(故木村正己氏夫人)	2500 (カード)
山脇 菊夫	S 29-327	5000	町村 淑子	S 06-435	2000			

【1年間の事業から】

同窓会U-20

若年層会員向けの恒例企画「同窓会U-20」を、平成19年3月25日（日）に開催しました。

当日は、卒業したての6年生はもとより、沢山の中高生が集まりました。今回は大学生の参加もあり、ビンゴに一喜一憂した後、友人と校庭でバスケットやサッカーに興じたりお喋りしたりの3時間でした。

今年度は、平成20年3月30日（日）14：00～を予定しています。

番町子ども会

愛育会と学区の町会が毎年開催している「番町子ども会」に、在校生との交流を深めるため参加しています。

今年は9月8日（土）13：30からの開催で、昨年同様駄菓子屋さんを出店しました。事務局手作りのルーレットを回して駄菓子の数を決めるので、子どもたちも真剣。その後は、楽しそうに好みのお菓子を選んでいました。

その他、愛育会のかき氷、小学校の焼きそば、ニコニコ堂さんのくじなどのブースがあり、700人以上の子どもたちが夏の終わりを満喫しました。

子ども会は、毎年9月の第2土曜に開催されます。



Home Coming Day

毎年12月の第1土曜日はHome Coming Dayです。イベントの開催はございませんが、資料室の見学、クラス会・同期会開催のバックアップ、開催時の集合場所の提供などを行っています。ご希望がございましたら、事務局（080-3012-1001）迄ご相談下さい。

平成18年度 収支計算書

前期繰越金	2,737,821円
収 入 金	8,866,684円
支 出 金	7,576,215円
当期収支差額	1,290,469円
次期繰越金（前期繰越金＋当期収支差額）	4,028,290円

収入の部

（単位：円）

卒業生入会金（18年度卒業生107名）	107,000
会 費（寄付を含む）	3,025,000
記念誌・キーホルダー等雑収入	325,671
135周年記念同窓会収入	5,407,146
利 息	1,867
収入合計	8,866,684

支出の部

活動費	265,681
慶弔費	21,163
会議費	76,234
通信費	78,024
印刷・事務費	271,842
会報作成費	1,160,130
インターネット関係費	26,800
備品費	94,980
事業準備引当金	200,000
記念事業引当金（創立135周年）	300,000
雑 費	1,170
135周年記念同窓会支出	5,080,190
支出合計	7,576,215

以上の通り報告致します。
平成19年3月31日

経理担当 片岡 勝吾
津田真知子

【会費納入のお願い】

会報発行と会員への送付、同窓会HPの拡充やイベントの開催等、様々な事業を展開する為、平成15年度より年会費（2,000円）を頂戴することになりました。趣旨をご理解頂き、年会費の納入をお願い致します。（収入に関する細則第3条により、20歳以下の会員は免除されます。）

つきましては、会費納入用の郵便振替払込用紙をお送り致しますので、平成20年3月15日迄にお納め下さいませようお願い申し上げます。併せて、前年度の分の会費が未納の方は納入をお願い致します。

【事務局から】

☆ ベルマーク収集にご協力下さった同窓生の皆様、有難うございました。（順不同・敬称略）

高岡千鶴子、中村香織、正木美樹子、夜久広・平

☆ 今後もベルマークを収集し、愛育会に協力していきたいと思えます。ベルマークは普段使っている歯磨きや石鹸、文房具、電池、食品や飲料品などに付いています。それらのマークを5mm程度の余白を残して切りとり、下記までお送り下さい。

送料はご寄付頂ければ幸いです。

〒102-0085 千代田区六番町8 千代田区立番町小学校内 番町小学校同窓会事務局ベルマーク係